
カーシェアリング・フリートマネジメントなど様々なモビリティサービスに展開可能な EV にも対応した車両データ収集・管理基盤「IoT ゲートウェイパッケージ」 ～来年 1 月以降、順次提供開始～

『自らのアイデアとテクノロジーを活用し、社会課題を解決する』をミッションに、「移動を支える」DX 事業を行う株式会社 Will Smart(東京都江東区／代表取締役社長：石井康弘／読み：ウィル スマート)はモビリティに特化した DX 推進基盤「Will-MoBi プラットフォーム」の新機能として EV 車両にも対応した車両データ収集・管理基盤「IoT ゲートウェイパッケージ」を 2024 年 1 月以降、順次、提供開始することを決定いたしました。



●新サービス提供の背景と目的

近年カーボンニュートラル実現に向けた CASE^{※1}の実装や運転手不足、地域公共交通の維持困難など、モビリティサービス事業を取り巻く環境は大きく変化しており、それに伴ってフリートマネジメントシステム(車両管理)の EV シフトや、業務効率化・省人化に向けた新たなモビリティサービスの構築などの需要もますます増加しています。

そこで Will Smart は 400 件以上の実績を重ねた「カーシェアリングシステム」の基盤技術を活用し、モビリティサービスに特化した DX 推進基盤「Will-MoBi プラットフォーム」を 2023 年 9 月に発表。今回、EV 車両にも対応した車両データ収集・管理基盤を「Will-MoBi プラットフォーム」の新機能として提供することで、カーボンニュートラルへの対応が求められる事業者へのさらなる支援の推進を図ります。

※1 「Connected(つながる)」「Autonomous(自動運転)」「Shared & Services(シェアリング)」「Electric(電動化)」というモビリティの変革を表す 4 つの領域の頭文字をつなげた造語。自動車業界の技術トレンドとして注目されています。

<Will-MoBi プラットフォームの全体像>



●IoT ゲートウェイ パッケージの概要

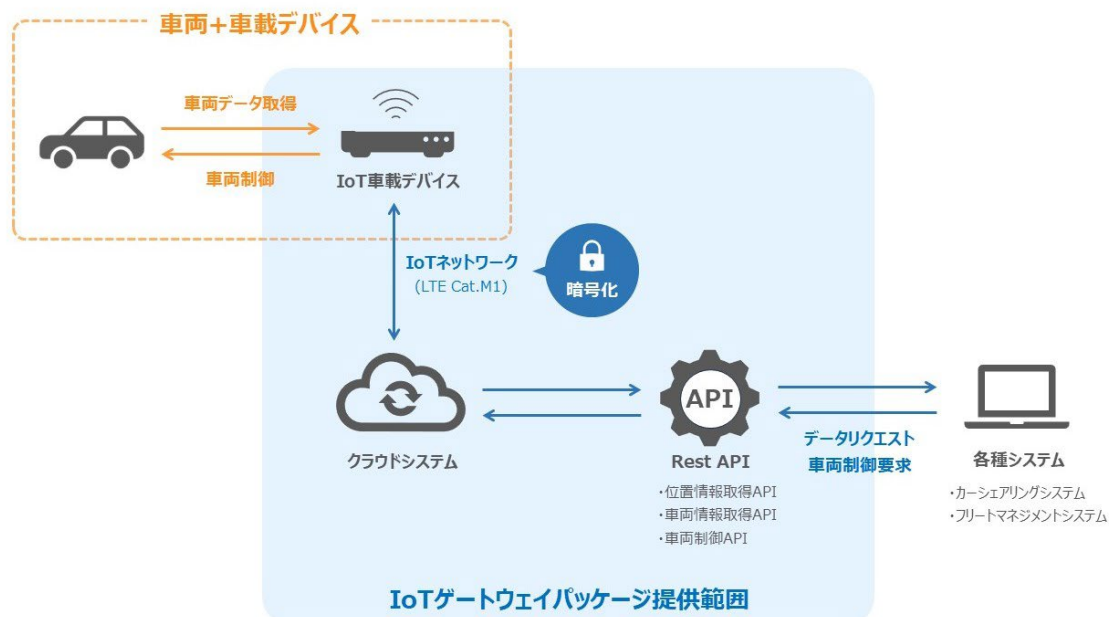
「IoT ゲートウェイ パッケージ」は、Will Smart が「カーシェアリングシステム」の提供で培ってきた車両データ取得技術や車両制御技術の知見を活かして開発を行った車両データ収集・管理基盤です。

車両から車載デバイスを通じて燃油残量や総走行距離、車速、GPS の緯度・経度情報の他、バッテリー残量(SOC)やバッテリー状態(SOH)^{※2}、充電状態など EV 特有のデータも取得可能です。データは長距離通信に最適な IoT ネットワーク通信を用いています。サーバーと車載デバイス間のデータ連携は暗号化しセキュリティレベルを向上させ、Rest API によって事業者からのデータリクエストに対応します。

また、今後提供予定のデジタルキーを活用すると既存のモビリティシステムから車載デバイスを通じた車両制御ができるので、カーシェアリングやフリートマネジメント、ライドシェアなど様々なモビリティサービスへ活用することができます。

本サービスを基盤システムとして活用いただくことで、新規モビリティサービスの技術課題を解消するとともに、開発コストやリードタイムを削減し、事業加速をご支援します。

※2 下部「備考」をご参照ください。



◆ 名称：IoT ゲートウェイパッケージ

◆ 提供内容：

– IoT 車載デバイス

下記の 2 製品をご用意しております。

- 車両データ取得専用モデル^{※3}：フリートマネジメントに最適
- 車両制御対応モデル^{※4}：カーシェアリングサービスに最適

※3 カーシェアリングサービスにはご利用いただけません。

※4 現在「カーシェアリングシステム」で提供している車載デバイスの後継製品です。

– IoT ネットワーク通信(LTE Cat.M1)

– クラウドシステムおよび各種 API(データ取得 API、車両制御 API 等)

◆ 提供可能時期：

IoT 車載デバイスのモデルによってサービスの提供可能時期が異なりますのでご注意ください。

- 車両データ取得専用モデル：2024 年 1 月以降(予定)
- 車両制御対応モデル：2024 年春頃(予定)

また、デジタルキー機能を有する専用端末も 2024 年春頃に提供を開始する予定です。

◆ 本サービスに関する問い合わせ先：

株式会社 Will Smart 社長室(マーケティンググループ)

TEL：03-3527-2100 MAIL:marketing@willsmart.co.jp

【特長】

1. ガソリン車の燃油残量及び EV のバッテリー残量を取得可能

ガソリン車だけでなく EV 特有のデータも取得可能です。また、取得した走行距離や燃油消費量に計算処理を加えることで走行距離から算出するよりも精度の高い燃費・電費の把握や燃料法による CO2 排出量が算定できます。

▼取得できるデータの例

ガソリン車・EV 共通：総走行距離、車速、急加速・急発進、GPS(緯度経度)情報

EV のみ：バッテリー残量(SOC)、バッテリー状態(SOH)^{※5}、充電(通電)状態

※5 下部「備考」をご参照ください。

2. 通信コストを削減

車載デバイスとサーバーをつなぐ IoT ネットワーク通信には従来よりも低価格、省電力で長距離通信に適した LTE 通信(LTE Cat.M1)を採用しています。1 車両あたりの通信コストを抑え、トータルの運用費用を削減します。

3. API によるデータ連携及び車両制御を実現

車載デバイスから取得したデータは Rest API によって既存のモビリティシステムへ連携できます。連携するデータは種類や連携の頻度を調整可能です。また、API を通じたシステムからの車両制御にも対応しています。

【利用シーンの例】

1. カーシェア/レンタカー事業者

- ・車両ごとにかかる通信費用を削減
- ・カーシェア及びレンタカー貸渡業務の省人化や無人化を実現し、人手不足を解消

2. タクシー/物流事業者

- ・ガソリン車を前提とした車載デバイス及びシステムのリプレイス
- ・車両情報から燃費や CO2 排出量を推定し、カーボンニュートラル施策へ活用

3. 新たなモビリティサービスを検討中の事業者

- ・「IoT ゲートウェイパッケージ」を基盤システムとして活用することで、新規モビリティ事業の開発コストを削減

※備考

- ・車種や年式によっては希望するデータが取得できない可能性があります。
- ・弊社での動作検証が完了していない車種や年式の場合、サービスにかかる費用や納品までの期間が異なる場合がございます。

■株式会社 Will Smart とは

株式会社ゼンリンデータコムの子会社として、2012 年に設立。人々の価値観や必要性から生まれる社会課題を、アイデアとテクノロジーによって解決することを使命とし、事業モデルの共創からハードウェアの企画製造及びソフトウェアの開発、導入後の運用までをサポートしています。

<https://willsmart.co.jp/>

■会社概要

会社名：株式会社 Will Smart

代表者：代表取締役社長 石井康弘

設立：2012 年 12 月 12 日

事業内容：IoT とソフトウェアの企画開発および DX ソリューションの提供

資本金：545,850,000 円

【報道関係者からのお問い合わせ先】

株式会社 Will Smart PR 事務局(株式会社そらはな内)

担当：藤岡 TEL:03-6436-7821 MAIL : fujioka@sora-hana.jp

【その他に関するお問い合わせ先】

株式会社 Will Smart PR(社長室 マーケティンググループ)

TEL:03-3527-2100 MAIL: marketing@willsmart.co.jp